

仕 様 書

1 件 名 北海道立向陽ヶ丘病院のカーテン賃貸借契約

2 賃借場所 北海道網走市向陽ヶ丘1丁目5番1号

3 賃借期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで

4 仕 様

(1) カーテン及びブラインド等の取付け場所（別紙内訳内容参照）

カーテン：288枚 3,073.7平米

(2) カーテンの生地

(ア) 消防法第8条の3に基づく消防庁長官の認定を受けた難燃性の生地を使用すること。
また、防炎ラベルは、ラベルのものを使用すること。

(イ) 耐光堅牢度は4級以上（JISL-0842）・洗濯堅牢度（変態色汚染）5級以上（JISL-0844）
を使用すること。

色彩及び厚み等については、病院側の指定したものを使用すること。

(ウ) JISランドリー法によって30回以上の洗濯に耐えること。

(エ) 熱湯（80℃）消毒を行って収縮率が巾・丈共に1.0%以下であること。

(オ) 本仕様に基づき、明細指定生地の同等又は、同等以上（平米単価が同一金額以上）のもの
を使用すること。

(3) カーテンの縫製について

(ア) ドレープカーテン、遮光カーテン及びレースカーテン（別紙内訳内容）は、2ツ山1.5倍
ヒダ以上とし、上下折り返しは200mm以上とすること。

(イ) 病室内仕切用カーテンは原則として同材質のメッシュ入り生地で仕立てること。

(ウ) 病室内ベッドサイドカーテンは、メッシュ一体型のカーテンとし生地は抗菌性もしくは、
制菌性を有するカーテンとする。スプリンクラーの散布障害にならぬように、メッシュの長
さは700mm以上（メッシュの長さを指定）とし適用する製品であること。

(エ) 抗菌・制菌である事を標榜するラベルを縫付けること。

(オ) 病室内ベッドサイドカーテンのフックは、永久に錆びないステンレス製（注1）を使用し、
カーテンが脱落せずレールランナーから抜け落ちないように仕上げること。

(カ) また、カーテンのフックの先端は丸く仕上げること（注2）

（注1：プラスチックフックは破損の可能性があるので禁止とする）

（注2：病院側でカーテン交換する際に、フックの先端が指に刺さるなどの事故防止とクリーニ
ング中に生地を傷めないように仕上げること）

(キ) 縫製カーテンには、消防庁の認定番号その他難燃性であることを標榜したラベルをカーテ
ン1枚ごと縫い付けサイズを記入すること。

(4) クリーニング工場について

クリーニングを目的とする自社工場を設備していること。

(5) 洗濯メンテナンス

(ア) カーテンについては、年 1 回（間仕切り等は年 2 回）定期洗濯を行うこと。

(イ) カーテンのクリーニング方法。

①予 洗 （1 回～2 回 常温にて最低 5 分以上）

②本 洗 （1 回～2 回 30℃～60℃洗剤にて約 10 分）

③濯 ぎ （2 回～3 回 1 回につき最低 3 分以上）

④脱 水 （遠心分離機にて絞り脱水）

⑤プレス仕上げ（カーテン用ヒートローラーにて 1 枚ずつプレス仕上げ）の工程を行うこと。

(ウ) 定期洗濯の交換業務に関与するスタッフは、病院関係者全の業務に支障のないよう考慮し、必ず業者を証明するユニホームを着用すること。

(エ) 賃貸人は通常の使用に伴う防災カーテンのほつれ、綻び等の補修を随時無償で行うこと。

(オ) カーテン取り外しの際は衛生面を考慮し常時ランドリーバックを使用すること。

(カ) 防災カーテン納入業者は、その業者、または委託業者が、カーテンメンテナンス工場及び、カーテン縫製工場を自社で完備、所有している業者とすること。

(キ) 上記業務を実施するときは、作業工程表を提出し病院側の了解を得ること。

(ク) カーテンの交換業務にあたっては、病院担当者の指示に従い、特に患者者の入院生活を妨げないように心掛けること。

(ケ) 洗濯期間中は、予備カーテン（MR S Aを始め広範囲の細菌・カビ類を抑制するカーテン）を取付けることにより賃借人に迷惑が掛からないよう措置を講ずること。

(コ) 期間中のカーテンについては、賃貸人が完全保障すること。

(サ) 賃貸人は、品質マネジメントシステム審査登録制度（ISO 9001）及び一般財団法人医療関連サービス振興会が定めている、医療関連サービスマークを認定されている事。

5 納入等

(ア) 令和 6 年 4 月 1 日から使用出来るようにすること。

(イ) 賃貸人は、物品納入等の作業中における物損及び対人傷害を想定しそれを保証する保険に加入している業者であること。

(ウ) 賃貸人はカーテンの仕立て作成前に現場にて実測し管理台帳を作成すること。

(エ) カーテンの取付けは、すべて賃貸人が行うこと。

(オ) カーテンの社名表示は、出来るだけ小さく目立たないところに取付けること。

6 その他

本仕様書に定めのない事項及び不明な点については、病院担当者との協議の上決定すること。